



水性セメント



二液

特化則
特化則非該当

無鉛

NTX
トルエン・キシレン
を含んでいませんATOMTMX

コンクリート床面に施工後、エポ21を塗装

油で汚れたコンクリート床面の塗装でご好評をいただいております
「アトム #500 油面プライマー」(溶剤型)に、安全性を付与した後継品が登場！

特殊水性二液反応型プライマー

フロアトップアクア[®] 油面プライマー

特長

1

油が浸透している床面に付着

当社独自の特殊水和反応技術により油が浸透した普通コンクリートや強化コンクリート(カラコン、フェロコン)床面への付着性に優れます。

2

優れた安全性

有機則非該当で、文部科学省「学校環境衛生の基準」の6物質、厚生労働省指定の環境物質13物質、および女性労働基準規則(女性則)指定の26物質が非含有。だから安心してご使用いただけます。

3

塗り替えに最適

幅広い種類の樹脂系塗料の既存塗膜に付着するため、塗り替えに最適です。

4

季節に合わせた硬化剤で使い易い

一般型と冬型の硬化剤を用意しました。気温に応じて使い分けができます。

【用途】

- ・油が付着浸透している普通コンクリートや強化コンクリート床面
- ・食品工場、厨房、機械工場、修理工場などの床面

【内容量・塗り面積・荷姿】

・内容量

6 kgセット：主剤 2 kg / 角缶
硬化剤 4 kg / 半缶

※硬化剤には冬型と一般型の2種類があります。使用する温度に応じて使い分けてください。

(冬型：5～20℃)
(一般型：20～35℃)

・塗り面積 約 40 m²

・荷姿



主剤

硬化剤

【適応素材】

コンクリート、強化コンクリート、既存樹脂塗膜(アクリル、エポキシ、アクリルウレタン、MMA、ポリエステル、ビニルエステル等)

【上塗り適正材料】

フロアトップアクアフォルティス、エポ21、フロアトップ#5000、#7000、#8000、#8500速乾、エポワン、U-100NEO

注) 旧塗膜が水性または一液溶剤型の場合、上塗りに#5000、#7000、#8500速乾は使用できません。

女性従業員様の声



自分たちで塗装したのですが、臭いが少なく女性則指定物質が含まれていないので、安心して作業できました。

アトムクス株式会社

フロアトップアクア 油面プライマー

施工仕様例

工 程	製品名	希釈剤	希釈量 (wt%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	施工面の油泥を除去し、油分を洗浄して、よく乾燥させてください。 また、汚れや脆弱層をサンディング処理して除去してください。				
2 下塗り	フロアトップアクア 油面プライマー	—	—	0.15~0.20	一般型:3.5~24 冬 型:1.5~24
3 上塗り	別記の各製品	各製品の施工仕様による			

※塗布量は下地の状況により増減があります。吸込みが激しい場合は、2回塗りしてください。
 ※塗装間隔は、上塗り塗装可能時間です。
 ※既存塗膜が一液型の場合は、上塗りに溶剤型は使用しないでください。
 ※本プライマーは厚塗りすると乾燥が遅れフクレを発生する可能性があります。
 ※油污の除去には水性洗浄剤「フロアトップオイルオフクリーナー」(無リン・強アルカリ系)をご使用ください。

■ 可使時間と上塗り可能時間

気 温		5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃
一般型 硬化剤	可使時間	—	—	50分	40分	30分	25分	20分
	上塗り可能時間	—	—	4時間	3.5時間	3時間	2.5時間	2時間
冬 型 硬化剤	可使時間	60分	50分	40分	30分	—	—	—
	上塗り可能時間	4時間	3時間	2時間	1.5時間	—	—	—

※可使時間が短いため、とくに高温時の塗装では可使時間にご注意ください。

【注意事項】

1. 塗装（施工）前の注意

- 5℃以下の場合には塗装を避けてください。降雨、降雪、高湿、高温時およびその恐れがある場合にも、塗装を避けてください。
- 下地処理は塗料の付着を決定する重要な工程です。施工仕様書をよくお読みのうえ、充分に注意して行ってください。
- 特に既存塗膜がMMA、ポリエステル、ビニルエステルの場合は、表層にワックス層が存在するため、サンディング処理してください。

2. 塗装（施工）中の注意

- 下地が濡れている場合は、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- 塗装中・乾燥中は、換気をよくし火気の取り扱いは厳禁としてください。
- 二液性塗料の計量・混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使時間にも充分注意して塗装してください。
- 塗料を小分けする場合は、小分け前に充分攪拌し均一にした後、主剤・硬化剤の配合比（重量比）を守るようにはかりで正確に計り取り、その後混合攪拌を行ってください。
- 材料混合の際、必ず缶底の四隅に攪拌機を当てて混合してください。さらに攪拌機を上下に動かして、まんべんなく材料が混ざるように混合してください。
- 塗装中に休憩する場合、ローラーはけに含む材料が可使時間を過ぎてしまい仕上がりに影響するので、新しいローラーはけに交換してください。

3. 塗装（施工）後の注意

- 湿度が高い時、気温が低い時は乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 本プライマーに使用した用具の洗浄は水では行えません。合成シンナーNo.2等をご使用ください。

4. 塗装面別の注意

- 既存塗膜面の塗り替えでは、既存塗膜が基材に充分付着しているか確認してください。浮いている既存塗膜は除去してください。また既存塗膜の種類によっては、塗装仕様が異なる場合がありますので、当社営業担当者にご確認ください。

5. 全般的注意

- 製品ご使用の際にはSDS（安全データシート）・施工仕様書をよくお読みください。
- 製品改良等のため製品の中身・仕様は将来予告なしに変更する場合があります。
- 当仕様書に表示してあります塗り面積・工法はあくまで設計上の標準的な数値です。
- 本製品は、定められた用途以外には使用しないでください。
- ご不明な点がございましたら、必ず使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-0041 東京都板橋区舟渡 3-9-6 TEL.03-3969-3125(直通) FAX.03-3968-7300

▼事業所情報

